

市民の皆さんからの

市政への提案

をご紹介します

「市政への提案」の制度は、市政に関する建設的な意見および提案を市民から求め、今後の市政運営の参考とすることにより、市民参加・参画のまちづくりを推進することを目的としています。

令和2年度は、75件の意見および提案がありました。誠にありがとうございました。

寄せられた中から、主な「市政への提案」とその概要を掲載します。なお、市ホームページにも掲載しています。

■ 秘書広報課

窓口へのビニールシート設置について

● 提案

市役所に感染予防のビニールシートが必要だと思います。窓口はもちろんですが、職員の机の間に仕切りをするなど、感染予防が大事だと思います。



● 回答

市では、新型コロナウイルスの感染と拡大防止のために、いわゆる「三密」とならないよう工夫をしながら業務を行うなどのあらゆる対策を講じて取り組んでいます。

特に窓口の応対においては、間近で会話を行う密接場面となることが多いことから、ビニールシートの設置を始めるなど、飛沫感染防止の取り組みを行っています。

● その後の対応

現在では、全庁の窓口にはビニールシートを設置し、定期的に清拭を行うなどの取り組みを継続して行っています。

子育て支援について

● 提案

子育て世帯で困っている人が多いです。今後、人口が増加していったらさらに増えるのではないのでしょうか。もっと子育てしやすい市にしてほしいです。保育所の増設、子どもが広々と遊べる施設の増設、子ども医療費の無償化の拡大を検討していただきたいです。

● 回答

待機児童の解消については、その重要性を十分認識し、施設整備をはじめとする受け皿の確保および処遇改善などによる保育人材確保の両面から解消に努めます。

また、本市では子育て支援拠点施設の設置のほかに、コミュニケーションセンターでのサロンなどを開催しています。そのほか、各自治公民館での「地域子育てサロン」など、より身近な場所で行える取り組みを行っている地域もあります。

最後に、子ども医療費については、3歳未満の入院・通院における医療費を全額助成、3歳から中学生までは段階的な医療費の助成を行っています。引き続き子育て世帯の経済的不安の軽減に努めます。

● その後の対応

子ども医療費については、令和3年4月に制度を改正し中学生の通院も医療費助成の対象となりました。

電気自動車の充電スタンドについて

● 提案

二酸化炭素削減と騒音軽減効果がある電気自動車普及促進のために、新たに充電スタンドの設置を行う店舗や企業に補助金を交付してください。

● 回答

市では、住宅用エコエネルギー導入促進による再生可能エネルギーの普及に注力しており、「提案の充電スタンド設置に対する補助を行う予定はありません。

なお、充電スタンド設置に対する補助は国が行っていますので、ご活用のご検討をお願いします。



市のホームページについて

● 提案

市のホームページがいまだにスマートフォンに対応しておらず見づらいので、改善してください。

● 回答

市ホームページについては、スマートフォンからのアクセスが増え、早急な対応が必要であると認識しています。

このような状況から、スマートフォン閲覧にも対応した新たなホームページを新年度から公開することを目指して移行作業を進めているところであります。

● その後の対応

令和3年3月17日からスマートフォンに対応したホームページにリニューアルしました。

インフルエンザワクチン接種の補助について

● 提案

市インフルエンザワクチンについては、現在は65歳以上の人などに補助がありますが、集団生活を行う子どもたちにも補助を広げることを提案します。

● 回答

インフルエンザワクチンは、予防接



種法の定期接種として、65歳以上の人や60歳以上65歳未満で、心臓や腎臓、呼吸器の機能に障がいがある人など、身の回りの生活を極度に制限される人、日常生活がほとんど不可能な人を対象に、予防接種にかかる費用の助成を行っています。インフルエンザは発病後、多くの人は1週間程度で回復しますが、高齢者や基礎疾患のある人は重症化する可能性が高く、その予防のために実施しています。

市では法に基づいて、定期接種として規定される対象疾病・対象者への予防接種を確実に実施しており、対象の拡大は困難と考えています。

住所の「大字」表記について

● 提案

市内の住所に「大字」が付く付かない地域がありますが、統一させて大字を

無くしてはどうでしょうか。国が発行する車検証も省略して記載されており、郵便も問題ありません。省略されてしまつものなら、廃止して市内の住所表記を統一してはどうでしょうか。

● 回答

大字は、明治22年の市町村合併以前の村・町の区域を引き継いできたものとされ、大字表記の廃止は、一般的に市町村合併や区画整理事業、住居表示の実施を契機として行われています。

本市でも区画整理事業や住居表示事業を実施する際に廃止した経緯がありますが、現在も約1万3千世帯に表記しています。大字の表記については、本市のまちづくりの方向性を踏まえて検討していきたいと考えています。

避難所の運営について

● 提案

台風10号の接近に伴い、家の近くのコミュニティセンターに避難しました。

コロナ禍中の大型台風の接近は市の職員の人にとっても初めてのことであったと思います。

そこで、この経験を生かして職員でワークショップのようなものを開いて話し合えば、今後のより良い避難所運

営ができるのではないのでしょうか。

● 回答

台風10号では多くの皆さんが自主避難をなさいました。

市では避難所対応に従事した職員などにアンケートを行い、今回の経験を生かし、備品の整備や感染防止の取り組みなどの改善を行うこととしています。

「市政への提案」の封筒と用紙は無料で提出することができます。

封筒は市役所、生涯学習センター、カミリーヤ、各コミュニティセンターなどに設置しています。またホームページからも受け付けています。

皆さんからの提案をお待ちしています。

